


持続可能なサービスを提供するために 公共施設の見直しを進めています

市では、市民の皆様にも必要な公共施設のサービスを確保するため、最適な数の施設の保有や維持管理費の縮減などを目的とし、平成25年度から施設評価を実施し、施設の見直しを進めています。

施設評価とは…
市の公共施設のうち、庁舎や公の施設など「ハコモノ」の施設を対象に行います。劣化や利用者数、収支の状況などをもとに基礎的な評価を行った上で、類似施設の有無や防災対策なども踏まえ、「総合評価」を決定します。



令和元年度の施設評価概要

平成29年度から令和元年度までの3年間で、2巡目の施設評価を実施しています。令和元年度は、利用圏域が広域・市域のその他施設の一部、地域の庁舎等施設、学校教育児童福祉施設の一部、地区の消防施設の359施設と、「令和元年度までにあり方を検討」の評価となっていた11施設を加えた370施設の評価を行いました。今回の総合評価で「何らかの見直し」の評価となったのは24施設でした。

総合評価		施設名
建物の評価	機能の評価	
処分 (廃止、売却・譲渡)	廃止	消防団瓜生野分団第4部消防団車庫、浦之名小学校、瀬頭別館、(旧)宮崎市健康相談センター、いこいの広場、(旧)去川小学校、仮屋原農村公園
	移転	消防団生目分団第1部消防団車庫、消防団北分団第2部消防団車庫、生目水防倉庫
	統合・集約	宮崎市生目地域センター
改修・更新	変更	宮崎市那珂地区公民館
	継続	消防団佐土原分団第本部消防団車庫、消防団佐土原分団第2部・第4部消防団車庫、檜北小学校、赤江東中学校、宮崎港小学校、生目台西小学校、小松台小学校、住吉中学校、宮崎市葬祭センター
あり方を検討 (再評価)	あり方を検討 (再評価)	高岡福祉保健センター「穆園館」
継続	改善	宮崎市観光案内所、宮崎白浜オートキャンプ場


改善となった施設



施設管理者がサービス内容や利用料金の設定、施設の改築などができる公共施設等運営権制度を令和2年度より導入し、さらなる施設運営の健全化を進めています。

宮崎白浜オートキャンプ場

統合・集約となった施設



施設の老朽化が進んでいることから、現在、建替え中の生目公民館との複合化を行います。更新修繕費の削減が期待されるほか、地域の拠点施設として、多世代交流やにぎわいの促進を図ります。

宮崎市生目地域センター



池田 和宏さん
イラストレーター

キラリ!
輝く次世代の宮崎人を応援

公募展に出品した作品10点のうちの一つを紹介する池田さん。ひとひねり加えたコンセプトの面白さが評価された。

現代の浮世絵を描く才能のあるアーティストを発掘するというコンセプトの下に、平成21年から開催されている「アダチUKIYO E大賞」。今年1月に行われた審査で大賞を受賞したのが、本市を拠点に活躍しているイラストレーターの池田和宏さんです。「幼いころから気が付けば絵を描いており、若いときはそれが仕事になるとは考えなかった。だからイラストレーターとして仕事を始めたのは40歳からです」と池田さん。個展を契機に2014年から活動をスタートさせ、以降SNSでの投稿をはじめ展示会で作品を発表。現在は、県内外から注文が入り、リアルな描写のアクリル画やコミカルなタッチの線画など、アナログ・デジタルを問わず依頼に応じて作品を提供しています。公募展出品は初めてですが、浮世絵に興味があり、職人が

何でも描けてこそ絵描き 日々研鑽し腕を磨く



木版画にしてくれる副賞を魅力に感じ挑戦。近未来的なフィクションの要素が現代の浮世絵にふさわしいと評価され、大賞という快挙を成し遂げました。「今回の作品が版画になって多くの人の目に触れてからが勝負だと思う」と池田さん。仕事の有る無しに関わらず描く姿を毎日撮影し、動画共有サービスに投稿して常に腕を磨いているそう。「大きな仕事に起用されるなど知名度を上げて、仕事で地域に貢献したい」と展望を語ってくれました。



制作過程を撮影した動画は毎日アップロードしている。

PROFILE 埼玉県入間市生まれ、宮崎市で育つ。2014年の初個展を契機にイラストレーターとして仕事を始める。SNSを中心に作品を発表しながら、本市を拠点に県内外の仕事を受注する。今年1月、公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団による第11回公募展にてアダチUKIYO E大賞を受賞。

問 企画財政部 行政経営課 TEL44-0373 FAX20-5025